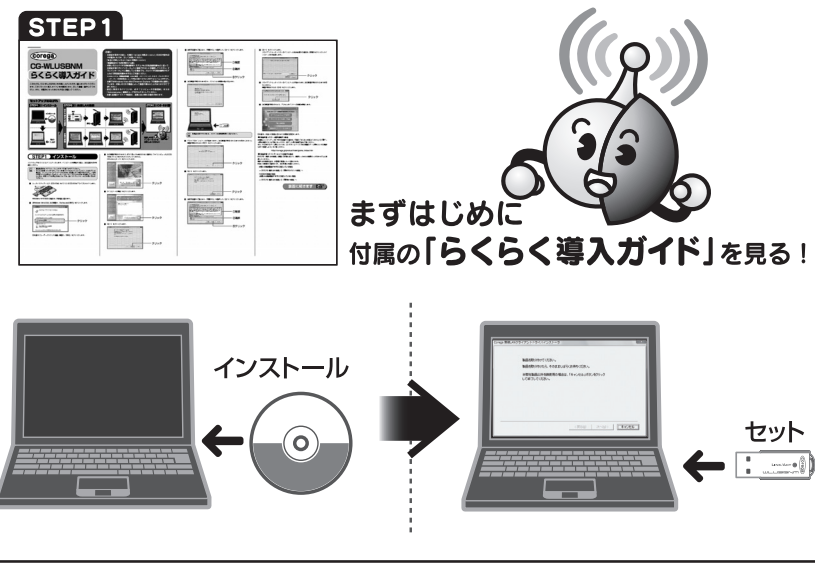
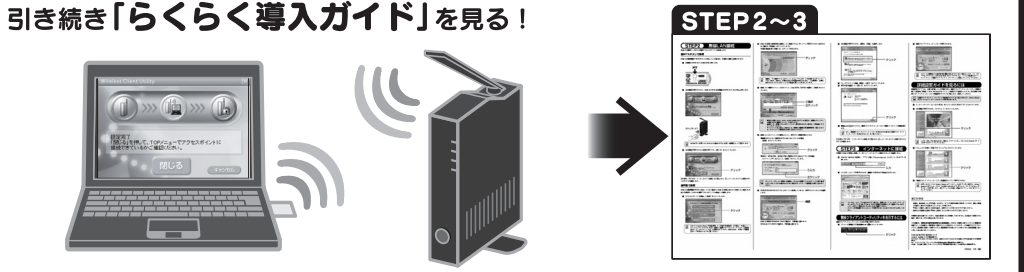
Y613-19989-00 Rev.C

corega はじめにお読みください

このたびは「CG-WLUSBNM」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書をお読みになり、正しく設置・操作してください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

■付属品一覧

- □CG-WLUSBNM　本体
- □USB フレキシブルケーブル（15cm）
- □らくらく導入ガイド
- □電波干渉注意ラベル
- □ユーティリティディスク（CD-ROM）
- □はじめにお読みください（本書）
- □XLink Kai をお使いのお客様へ
- □製品保証書

こんなときはこの設定

ゲーム機を接続する

ここでは、お使いのゲーム機でインターネットを利用して対戦ゲームをしたい場合の設定を説明します。本商品を設定するには、あらかじめ付属の「らくらく導入ガイド」「STEP1 インストール」をご覧になり、ソフトウェアをインストールしてください。

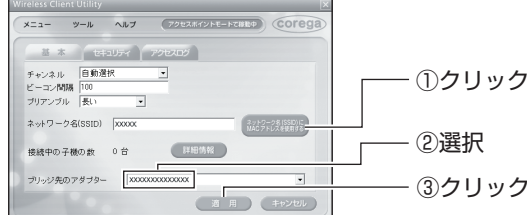
注意
- 広帯域接続など仮想ネットワーク環境で使用することはできません。ルータを経由しネットワーク環境でお使いください。
- ルータを経由した環境であってもネットワークアドレスが 192.168.0.x になっている環境では、本商品を使用することはできません。
- お使いのパソコンが無線LANを内蔵している場合は、停止してください。無線 LAN の停止方法は、お使いのパソコンのマニュアルをご覧になるか、各メーカにお問い合わせください。

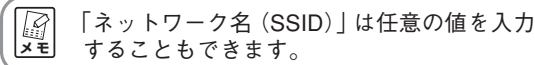
■ 本商品を設定する

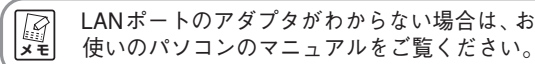
ここでは、お使いのゲーム機に接続する前に、本商品を設定する方法について説明します。次の手順は、セキュリティを「WEP 128bit」に設定する場合の説明です。「WPA」、「WEP 64bit」の設定方法は「詳細設定ガイド（PDF マニュアル）」をご覧ください。

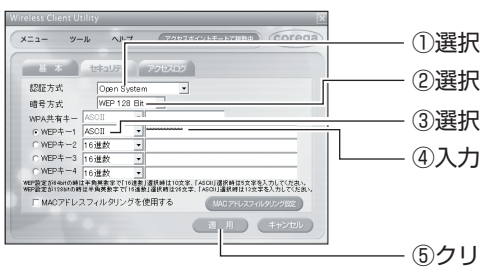
1. パソコンの画面右下の通知領域にある アイコン をクリックし、「無線クライアントユーティリティ」を起動します。
2. 「メニュー」－「アクセスポイントモード」の順にクリックします。

注意　「アクセスポイントモード」が選択できない場合は、本商品が正しくパソコンに取り付けられていることを確認してください。

3. 基本タブをクリックし、次のように設定します。

①クリックし、「ネットワーク名(SSID)」にSSIDが表示されたことを確認し、メモに控えます。

メモ　「ネットワーク名（SSID）」は任意の値を入力することもできます。

②パソコンのLANポートのアダプタを選択します。

メモ　LAN ポートのアダプタがわからない場合は、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。

③[適用]をクリックします。

4. セキュリティタブをクリックし、次のように設定します。

①「Open System」を選択します。
②「WEP 128 Bit」を選択します。
③「ASCII」を選択します。

メモ　「16 進数」（a～f/0～9）を選択し、④に 26 桁の値を入力することもできます。

④半角英数記号の13文字のセキュリティキーを入力し、メモに控えます。
⑤[適用]をクリックします。

5. 無線クライアントユーティリティの右上の ☒ をクリックします。

以上で、本商品の設定は完了です。引き続き、ニンテンドーDS または Wii の設定をします。

→ニンテンドーDSをお使いの場合
本書「■ ニンテンドーDSを接続する」へ
→Wiiをお使いの場合
本書「■ Wiiを接続する」へ
→そのほかのゲーム機をお使いの場合
本商品の対応情報は、コレガホームページ
「あの話題のゲーム機をコレガの無線LANで接続しよう」へ

http://corega.jp/product/navi/game_index.htm

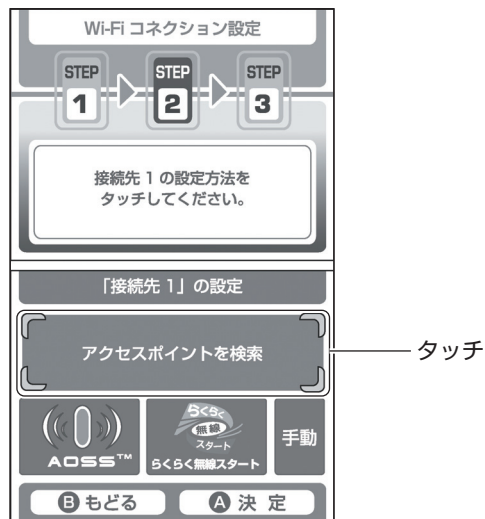
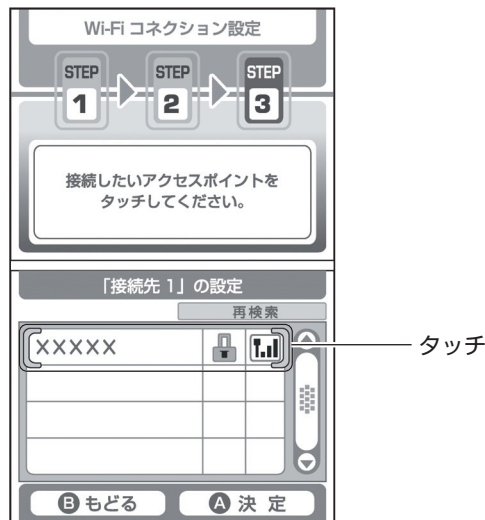
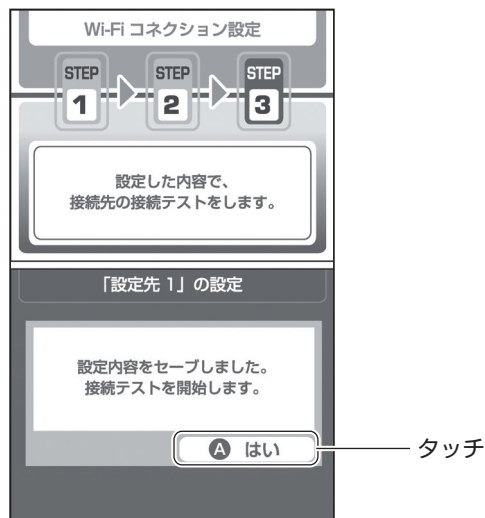
■ ニンテンドー DS を接続する

ここではニンテンドー DS で本商品に接続する方法を説明します。次の手順は、「■ 本商品を設定する」で本商品を設定してからご覧ください。

メモ
- ゲームソフトによって「Wi-Fi コネクション設定」を表示させる手順が異なります。
- ニンテンドー DS は「WEP」のみ対応しています。

1. 「Wi-Fi」または「Wi-Fi せってい」をタッチして「Wi-Fi コネクション設定」を表示します。
2. 「Wi-Fi 接続先設定」をタッチします。

3. 「未設定」の接続先をタッチします。

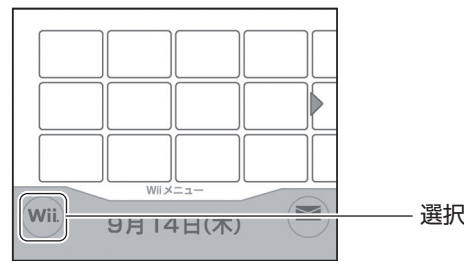
4. ［アクセスポイントを検索］をタッチします。

5. 「■ 本商品を設定する」の 3 の①で確認した「ネットワーク名（SSID）」をタッチします。

6. WEPキー入力画面が表示されますので、「■ 本商品を設定する」の 4 の④で設定した WEP キーを入力します。
7. ［はい］をタッチし、接続テストを始めます。

8. 次の画面が表示されたら設定完了です。

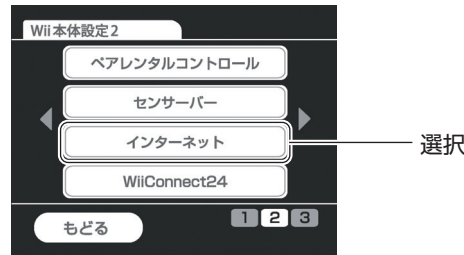
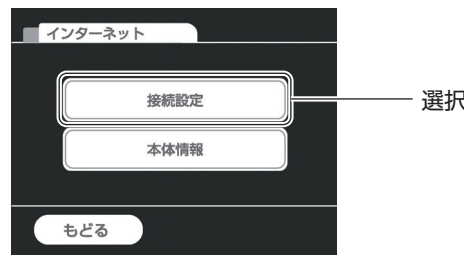
メモ　接続に失敗した場合は、WEP キーを誤って入力している可能性があります。3 からやり直してください。

以上で、ニンテンドー DS の接続は完了です。

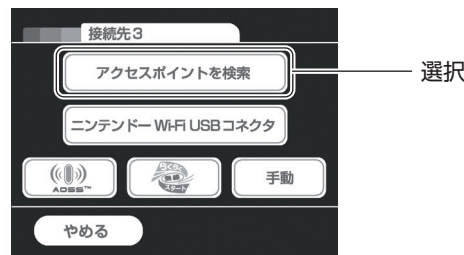
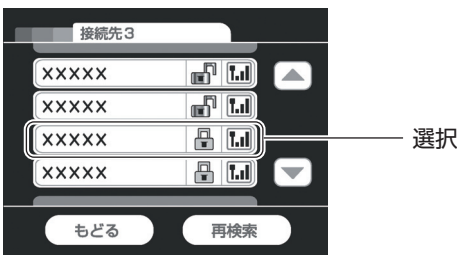
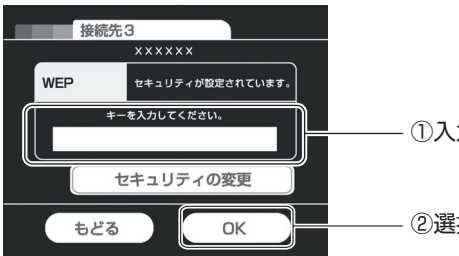
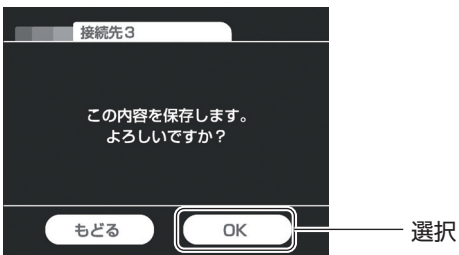
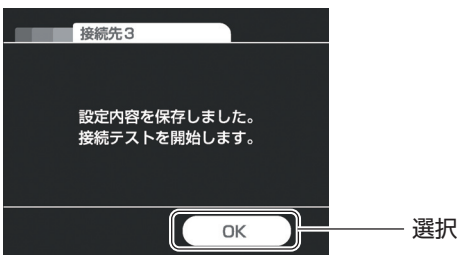
■ Wii を接続する

ここでは Wii で本商品に接続する方法を説明しています。次の手順は、「■ 本商品を設定する」で本商品の設定をしてからご覧ください。

1. Wii の電源を入れ、Ⓐボタンを押します。
2. ［Wii］（「Wiiオプション」）を選択し、Ⓐボタンを押します。

3. ［Wii 本体設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

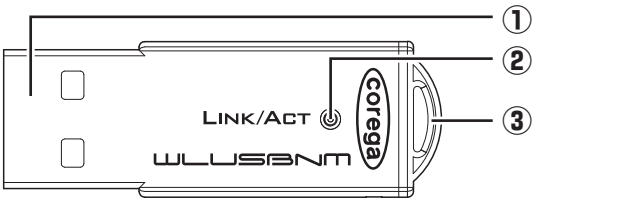
4. ［インターネット］を選択し、Ⓐボタンを押します。

5. ［接続設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

6. 「未設定」の接続先を選択し、Ⓐボタンを押します。

7. ［Wi-Fi 接続］を選択し、Ⓐボタンを押します。

8. ［アクセスポイントを検索］を選択し、Ⓐボタンを押します。

9. 「■ 本商品を設定する」の 3 の①で確認した「ネットワーク名（SSID）」を選択し、Ⓐボタンを押します。

10. 「■ 本商品を設定する」の 4 の④で確認した WEP キーを入力し、［OK］を選択してⒶボタンを押します。

11. ［OK］を選択し、Ⓐボタンを押します。

12. ［OK］を選択し、Ⓐボタンを押します。

13. 「Wii本体を更新しますか？」と表示されます。［はい］を選択し、Ⓐボタンを押します。

以上で、Wii の接続は完了です。

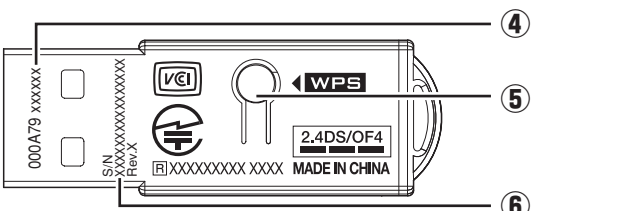
各部の名称と機能

■前面

① USB プラグ
パソコンの USB ポートに取り付けます。

② LINK/ACT LED
点灯：接続しています。
点滅：通信中です。
消灯：接続していません。

③ストラップ取り付け部
市販のストラップを取り付ける穴です。

本商品をパソコンから取り外すときに、ストラップを引っ張らないでください。破損するおそれがあります。

■背面

④ MAC アドレス
本商品の MAC アドレスが記載されています。

⑤ WPS ボタン
WPS（Wi-Fi Protected Setup）を設定するためのボタンです。

⑥シリアル番号
本商品のシリアル番号と、リビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガのサポートセンタへの問い合わせのときに必要になります。

トラブルシューティング

ここでは、お客様からトラブルのときによくお問い合わせのある質問を記載しています。回答が記載されていない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

■付属のソフトウェアのトラブル

●無線 LAN を内蔵しているパソコンにドライバをインストールした

お使いのパソコンが無線 LAN を内蔵している場合は、「無線クライアントユーティリティ」をインストールする必要はありません。「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」をご覧になり、ドライバを削除（アンインストール）してください。「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド」の表示方法は、付属の「らくらく導入ガイド」の「詳細設定ガイドを見るには」をご覧ください。

●ドライバをインストールしている途中でキャンセルしてしまった

・パソコンを再起動し、もう一度はじめからやり直してください
ドライバをインストールしている途中でキャンセルをしてしまうと、ドライバが不完全な状態になり、本商品を使用することができません。キャンセルをしてしまった場合はパソコンを再起動し、もう一度はじめからやり直してください。それでもインストールが完了できない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

●本商品を取り付けたらパソコンが動作しなくなった

インストール画面で本商品をパソコンに取り付けるよう画面が表示されます。インストールはお使いの環境によって処理に時間がかかる場合がありますので、そのままはしばらくお待ちください。5分程度待っても画面が切り替わらない場合は、パソコンの電源を切り、本商品をパソコンから取り外し、インストールをはじめからやり直してください。

●パソコンに本商品を取り付けたままWindowsをリカバリした

・「不明なデバイス」を削除してください
本商品を取り付けたままリカバリをしてしまうと、本商品の情報がパソコンに残ってしまいます。次の手順でドライバを削除し、一度本商品を取り外してから、インストールをはじめからやり直してください。

<Windows 7 の場合>
1 本商品をパソコンに取り付け、［スタート］をクリックします。
2「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
3 画面左側から「デバイスマネージャー」をクリックします。
4「ほかのデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。
※「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。
5 本商品をパソコンから取り外します。

〈Windows Vista の場合〉
1 本商品をパソコンに取り付け、［スタート］をクリックします。
2「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
3 画面左側から「デバイスマネージャ」をクリックします。
4「ユーザー アカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。
5「不明なデバイス」をダブルクリックします。
6「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。
※「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。
7 本商品をパソコンから取り外します。

〈Windows XP の場合〉
1 本商品をパソコンに取り付け、［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックし、「パフォーマンスとメンテナンス」－「システム」の順にダブルクリックします。
2 ハードウェアタブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックします。
3「不明なデバイス」をダブルクリックします。
4「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。
「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。
5 本商品をパソコンから取り外します。

〈Windows 2000 の場合〉
1 本商品をパソコンに取り付け、［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックし、「システム」をダブルクリックします。
2 ハードウェアタブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックします。
3「不明なデバイス」をダブルクリックします。
4「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。
「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。
5 本商品をパソコンから取り外します。

■セキュリティのトラブル

●接続する無線機器と同じ設定をしていますか？
セキュリティには無線グループのネットワーク名（SSID、ESSID)、通信を暗号化する WEP、WPA、WPA2 などがあり、通信するすべての機器に同じセキュリティが設定されていなければ通信することはできません。お使いの無線機器の取扱説明書をご覧いただき、同じセキュリティが設定されていることをご確認ください。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意
本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。
・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、コレガサポートセンタにご連絡いただき、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへお問い合わせください。

本商品の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式としてDS-SSとOFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
4　：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■セキュリティに関するご注意
無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
・メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。
使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
例）「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。
例）「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

禁止　**家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。**
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

強制指示　**付属の電源ケーブルまたはACアダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたはACアダプタをほかの機器に使用しないでください。**
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

禁止　**電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。**
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜くときは、ケーブル部を持って抜かないでください。

禁止　**電源ケーブルまたはACアダプタのたこ足配線はしないでください。**
発熱して火災の原因となります。

アース線を接続してください。
本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。

分解禁止　**本商品（ACアダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。**
感電、けが、火災、故障の原因となります。

プラグを抜く　**煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

プラグを抜く　**本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡手禁止　**濡れた手で本商品を扱わないでください。**
感電の原因となります。

禁止　**雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。**
感電の原因となります。

禁止　**小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。**
けがの原因となります。

禁止　**梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。**
窒息する原因となります。

禁止　**不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。**
けが、故障の原因となります。

禁止　**本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。**
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

禁止　**本商品（ACアダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。**
・多段積み
・通風孔をふさぐ
・前後左右、上部に十分なスペースがない
内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。
また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

禁止・浴室禁止・水濡禁止　**本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。**
・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなど高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所
・水などの液体がかかる場所
・振動のある場所
・ほこりの多い場所
・じゅうたんや布団などのある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
・天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
感電、火災、故障の原因となります。

強制指示　**お手入れ可能な場所に設置してください。**
本商品（ACアダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

禁止　**設置または移動するときは、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
感電、火災の原因となります。

禁止　**長期間使用しないときは、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。**
火災の原因となります。

禁止　**本商品に強い衝撃を与えないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。**
感電、故障の原因となります。

製品仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）（※）/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PCインタフェース	USB 2.0/1.1準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）（※）/g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）（※）/g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）（※）] 150Mbps（ショートガードインターバル/ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（クライアントモード/アクセスポイントモード）/Ad-Hoc
	アンテナ形式	チップアンテナ
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）
電源仕様	供給方法	USBインタフェースから供給（バスパワー）
	定格入力電圧	DC5V
	最大消費電流	84mA
環境条件	動作時	温度0～40℃／湿度10～90%（結露なきこと）
	保管時	温度−20～60℃／湿度5～95%（結露なきこと）
外形寸法		14（W）×5（D）×37（H）mm 本体のみ（突起部含まず）
質量		2.2g 本体のみ

※ IEEE802.11n（ドラフト）に準拠します。「Wi-Fi CERTIFIED」は、IEEE802.11g/bとして認証を取得しています。

保証と修理について

■保証について
「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について
故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。
修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。
・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について
有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記URLに有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

商品に関するご質問は…

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

■お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】
メールサポート：下記 URL をご覧ください。

http://corega.jp/faq/

FAX　045-476-6294
電話　045-476-6268

〈受付時間〉
10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）
※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。
※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。
※サポートセンタへのお問い合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.
※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

■必要事項
あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。
□ 商品名　□ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
□ お名前、フリガナ　□ 連絡先電話番号、FAX 番号　□ 購入店
□ 購入日付　□ お使いのパソコンの機種　□ OS
□ 接続構成　□ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

2009 年　3 月　初　版
2010 年　4 月　第三版

本書は再生紙を使用しています